

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドドド立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年9月26日 NO.49 (349)



宵宮参り

モンタ博士「きのうと、おとといの<sup>や ほてんまんぐう まつ</sup>谷保天満宮のお祭りはすごかったね。」

花ちゃん 「モンタ博士も<sup>さんか</sup>参加されたのですか。」

モンタ博士「もちろんだよ。<sup>ちいき おお まつ</sup>地域の大きなお祭りだから、もちろん<sup>さんか</sup>参加したよ。このよう  
な<sup>まつ</sup>お祭りが、<sup>ちいき</sup>地域にあるということは、とてもうれしいことだし、<sup>ほこ</sup>誇りだね。

<sup>じまん</sup>あちこちみんなに<sup>おも</sup>自慢してもいいことだと思うよ。」

花ちゃん 「<sup>まつ</sup>お祭りの<sup>ただ</sup>正しい<sup>なまえ</sup>名前は、『<sup>や ほてんまんぐうれいたいさい</sup>谷保天満宮例大祭』というそうですね。」

モンタ博士「ほほー。なかなか<sup>かんしん</sup>くわしいね。感心だね。」

花ちゃん 「<sup>ただ</sup>正しくは、<sup>まいとし</sup>毎年9月25日に<sup>さいてん</sup>祭典がありますが、その<sup>ちか</sup>近くの<sup>どうび</sup>土曜日・<sup>にちようび</sup>日曜日  
に『<sup>よいみやまい</sup>宵宮参り』と『<sup>こしきししまい</sup>古式獅子舞』と『<sup>まんとうぎょうれつ</sup>万灯行列』が<sup>おこな</sup>行われるんです。」

オー君 「へえー。<sup>はな</sup>花ちゃんは<sup>なん</sup>何でも<sup>し</sup>知っているんだね。すごいね。」

花ちゃん 「わたし<sup>くにたちだいななしょうがっこう</sup>なんかすごくないわ。国立第七小学校の子どもたちは、<sup>こ</sup>お祭りのメン  
バーとして<sup>かつやく</sup>活躍してくれているんです。それがすごいんです。」



子供万灯



古式獅子舞



紅童

モンタ博士「そうだね。『古式獅子舞』では、5年生のM・SちゃんとH・Sくんが棒使いとして参加しているんだ。カッコいい衣装でバッチリきまっていたね。」

花ちゃん「それから、『例祭祭典』では、4年生のN・Sさんが『紅童』となり、華やかな衣装で美しい舞を見せてくれるんです。」

モンタ博士「『万灯行列』では、子供万灯もあって、それをかついで、たくさんの万灯と一緒に谷保駅から谷保天満宮まで、勇壮に練り歩くんです。」

オー君「見た見たよ。すごかったね。万灯には大・中・小とあって、国立市のいろいろな町会から一基ずつ出るんですね。」

モンタ博士「とてもとても立派なお祭りでしたね。獅子舞は1000年の歴史があるそうで、モンタ博士もおどろきでした。お祭りには、夜店なども出てとっても楽しいけど、それだけで終わりにしては残念だね。この機会に、自分の地域をもっと深く知ることが大切だよ。ところで、このお祭りは谷保天満宮のお祭りだけど、だれを祀っているか覚えているかな。」

オー君「えーっと・・・だれだったかな。」

花ちゃん「こまるわね、オー君。菅原道真公ですよ。国立第七小学校の子どもとして、ちゃんと覚えておきましょう。」

モンタ博士「そのとおりだね。菅原道真公と谷保天満宮については、平成25年度の『国立てくてく1』のNO.84とNO.85に、いつ頃の人で、どんな人で、何をした人かくわしく書いてあるので、また復習しておいてほしいね。」



## 谷保天満宮について

東日本における天満宮としては最も古く、湯島天神、亀戸天神とならび関東三天神と称される。主な社宝としては、後宇多天皇勅額「天満宮」(国指定重要文化財)、村上天皇奉献「狛犬一對」(国指定重要文化財)などがある。また、本殿・拝殿は市指定重要文化財で、社叢は東京都天然記念物であり、大変貴重な存在である。さらに、獅子舞は、市指定無形文化財である。なお、社務所二階には宝物館があり、日曜・祭日の午前11時より午後3時まで無料で見学ができるそうである。